

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	景観形成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設経済部 都市計画課		事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						-1-(1)	
事業内容	読谷村の地域特性を活かした魅力ある優れた景観形成のため、ヤチムンの里地区を景観地区に指定する。 また、座喜味地区においては意見交換等を行い、景観地区(案)を作成する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,014	5,397	3,885		
		(b)予算現額	2,814	5,040	3,885		
		(c)増減額(b-a)	▲ 200	▲ 357	0		
		(d)繰越額	-	-	-		
	A.計(b+d)		2,814	5,040	3,885		
	B.執行済額		2,814	5,040	3,672		
	うち交付金充当額		2,251	4,032	2,937		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	95%		
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。 予算の執行率が95%となっているのは、指名競争入札による入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	(ヤチムンの里地区) ・景観地区指定に向けた法定手続を進める。	目 標	()	()	(法定手続を進める)	()	
		実 績			法定手続中		
	(座喜味地区) ・意見交換又はヒアリング(2回)	目 標	(調査の実施)	(8 回)	(2 回)	()	
		実 績	調査の実施(7回)	7 回	2 回		
達成状況説明	景観地区の指定を検討している座喜味地区において、合計2回の住民説明会を開催し、計画通りに事業を実施することができた。 ヤチムンの里地区においては、沖縄県との協議や景観地区運用マニュアルの作成、その他参考資料の作成等の法定手続に向けた取り組みを行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	(ヤチムンの里地区) ・景観地区の指定	目 標	()	(調査の実施)	(都市計画決定図書 の作成)	(景観地区の指定)	()
		実 績		調査実施2回	都市計画決定図書の作成	法定手続中	
	(座喜味地区) ・景観地区(案)の作成	目 標	()	(調査の実施)	(住民意見の集約)	(景観地区(案)の作成)	()
		実 績		調査実施5回	住民意見の集約	景観地区(案)の作成	
	進捗状況説明	ヤチムンの里地区においては、景観地区の指定に向けた取り組みを行ってきたが、今年度で決定するまでは至らなかった。しかし、関係機関協議や景観地区運用マニュアルの作成、その他都市計画決定に必要な資料について今年度で作成することができ、平成27年度中には都市計画決定が見込めている。 座喜味地区については、これまでの意見交換で出された意見をまとめ、景観地区(案)を作成することができた。今回の案を基に、平成27年度中の景観地区指定を目指して取り組んでいる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	景観地区指定に向けた法定手続を実施するにあたり、関係機関との協議等が多くなることから、それらを円滑かつ効率的に進められるようにする必要がある。	今年度に取り組んだ関係機関協議により、法定手続上の課題点が把握できた。 関係機関協議を密に取り組むことにより、今後の法定手続きを円滑かつ効率的に進められるよう改善を図る。
今後の取り組み方針		
ヤチムンの里地区については、今年度作成した資料を基に、引き続き景観地区指定に向けた法定手続を行っていく。また、平成27年度中には景観地区の指定がなされることが想定されるため、景観地区運用マニュアル概要版を作成し、地権者・業者等への周知に努める。 座喜味城跡周辺地区においては、景観地区指定に向けた法定手続を行い、景観地区指定を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>3,672</td><td>3,672</td><td>2,937</td><td>735</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,672	3,672	2,937	735	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,672	3,672	2,937	735	0										
読谷村 3,672千円 → 委託料 3,672千円 → 昭和株式会社沖縄支社 3,672千円 〔平成26年度読谷村景観地区指定方策検討調査委託業務〕														
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は指名競争入札により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については完了段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部課名	建設経済部 商工観光課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開	
						-1-(1)	
事業内容	読谷村のスポーツ施設の状況や受け入れ体制のアピールをするとともに読谷村の観光資源や特産物をPRするイベント(仮称「読谷デイ」)を実施することにより、キャンプの継続実施とキャンプ開催時期における誘客を図る。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	16,323	21,648	21,760		
		(b)予算現額	15,971	21,648	16,560		
		(c)増減額(b-a)	▲ 352	0	▲ 5,200		
		(d)前年度繰越額	-	0	0		
		A.計(b+d)	15,971	21,648	16,560		
	B.執行済額		15,926	15,083	14,821		
	うち交付金充当額		12,740	12,066	11,856		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		99.7%	69.7%	89%		
予算の状況の説明		イベント等を他事業と合同実施するなどにより、予定していた金額よりも低く抑えることができたため、執行残が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光PRチラシ作成	目 標	(1,000枚)	(3,000枚)	(3,000枚)	()	
		実 績	1,000枚	3,000枚	3,000枚		
	誘致PRイベントにてPR演舞	目 標	-	(11回)	(11回)	()	
		実 績	-	11回	11回		
	集客イベントの開催	目 標	-	(1日)	(1日)	()	
		実 績	-	1日	1日		
	達成状況説明	プロ野球中日ドラゴンズ誘致については、ナゴヤドームで開催された8月31日(日)の広島東洋カープ戦において読谷村の各種PR活動を行なった。 J1サガン鳥栖誘致については2014Jリーグディビジョン1 第24節 サガン鳥栖vsベガルタ仙台戦において「でーじ大好き サガン鳥栖! 3」として読谷村の各種PR活動を行なった。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		24年度	25年度	26年度	27年度
・誘致PRイベントにてPR演舞の観覧者		目 標	(-)	(40,000人)	(40,000人)	()	()
		実 績	-	45,000超	45,000超		
・観光PRチラシ配布		目 標	(1,000枚)	(3,000枚)	(3,000枚)	()	()
		実 績	1,000枚	3,000枚	3,000枚		
・集客イベントの来場者数		目 標	(-)	(2,000人)	(2,000人)	()	()
		実 績	-	2,400人	1,407人		
進捗状況説明		当事業や他事業等における受入体制の構築等の効果もあり、中日ドラゴンズ・サガン鳥栖、両チームのキャンプ継続誘致に繋がった。集客イベントについては、同日開催を予定していたイベントが別日になった等の影響もあり、目標値にとどかなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	伝統芸能の披露、観光PR映像の上映、読谷村PRブースの設置、観光PRチラシ等の配布、読谷村のPR及び村特産品紹介のため実施することにより、平成26年度の各種スポーツキャンプの継続誘致に繋がった。 同事業を継続し、誘致活動を行う計画であるが、キャンプ実施の確約とはならないため、各スポーツチームとの密な連絡体制構築が課題。また、プロキャンプ等のニーズが高まり、新たに他球団からのオファーがくるものの、希望期間の重複やその対応に十分に应付することができない状況が生じている。 プロスポーツキャンプを受け入れるため、良好な施設環境の維持が求められている。	沖縄県におけるプロチームのキャンプ誘致については練習試合等のマッチメイクの影響等もあるため、継続誘致及び新規キャンプ受入については、スポーツコミッション沖縄やキャンプ誘致市町村との連携が必要である。 プロスポーツキャンプを活性化させるため、グラウンド内の土や芝生等を良好に保つ必要がある。
今後の取り組み方針		
当事業は、継続事業となっており、今後もキャンプの継続誘致のため、球場やスタジアムなどで伝統芸能披露、観光PR映像の上映、読谷村PRブースの設置、観光PRチラシ等の配布等を行うとともに、県及び関係市町村と連携し、キャンプ地としての魅力を伝え、各種スポーツチームに対する誘致活動事業を実施する。また、関連機関と連絡を密にとることにより、キャンプニーズに柔軟に応じられるよう取り組む。 併せて、関連事業において、プロスポーツで利用する施設の適切な維持管理を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
読谷村 (14,821千円) 旅費 (8,536千円) 需用費 (1,719千円) 使用料及び賃借料 (4,566千円) 観光・特産品PR隊 (8,536千円) 〔消耗品・特産品、印刷製本費等〕 株式会社ナゴヤドーム (756千円) 株式会社サガン・ドリーム (3,240千円) 有限会社沖縄スカイ観光サービス (66千円) 近藤産興株式会社 (297千円) ポイントワン (57千円) 有限会社川代テント興業 (150千円) 〔村・観光・特産品PRにかかる旅費〕 〔施設使用料〕 〔施設等使用料〕 〔レンタカー賃料〕 〔イベント開催にかかる機械器具賃料〕 〔イベント開催にかかる機械器具賃料〕 〔イベント開催にかかる機械器具賃料〕				
総事業費		交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金
14,821		14,821	11,856	2,965
				0
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は、実績等を勘案した上で選定しているため妥当であり、また、予算規模については、事業の合同実施等により不用が生じたものの、事業目標を概ね達成しているため、適正な規模であったと考える。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1- 危険生物駆除事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (2) - ウ		
担当部課名	生活福祉部 健康環境課		事業実施 (予定)年度	平成25～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備	
	- 1 - (1)						
事業内容	危険生物として駆除の対象となっているハブの咬症被害が、本村においても毎年のように発生し、村民はもとより観光客が被害にあう事例も発生している。また、これまで近隣市町村でのみ捕獲された攻撃性の強いタイワンハブの捕獲事例が本村でも発生しており、その蔓延を防ぐためにも早期の駆除活動の強化が必要である。来村する観光客や行楽客、そして村民をハブ咬症から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除により個体数を減らすとともに、より安全な観光地を目指す。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	15,358	10,576			
		(b)予算現額	15,358	4,975			
		(c)増減額(b-a)	0	▲ 5,601			
		(d)繰越額	0	0			
		A. 計(b+d)	15,358	4,975			
	B. 執行済額		6,418	4,939			
	うち交付金充当額		5,133	3,951			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		41.8%	99.3%			
予算の状況の説明		当初予算額より、5,601千円減額となっているが、主に委託費の入札残による。 また、平成26年度委託業務において、マウスの飼育管理等も含め委託した為、賃金も不用とした。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	村内に捕獲器400基を設置し、巡回する。	目 標	(設置)	(400基)	()	()	
		実 績	設置完了	400基			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状 況 説 明	・H26.4月末に委託業務を発注し、ハブ捕獲器400基の設置及び巡回の委託を行った。 ・また捕獲する為のエサとなるマウスを飼育した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (25年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)
	捕獲数:100匹 / 年	目 標	(400力所)	(100匹)	()	()	()
		実 績	3匹	130匹			
					()	()	()
	進 捗 状 況 説 明	・ハブ捕獲器を、昨年度に引き続き400個確保し、設置及び巡回の委託を行い、村内各区域に設置した。 ・早期発注により、昨年度と比較し大幅に捕獲数が増加した。 ・ハブの活動の活性化に伴って、捕獲数も伸びることが予測される。結果、観光客、住民のハブの咬傷被害を抑えることができる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・事業実施(補助金活用)にあたり、早期着手の事務手続きに不備が生じた為、年度当初から発注を行う事が出来なかった。 ・ハブ捕獲用の餌であるマウスが、捕獲器用の個体数は十分に確保できたが、夏場の暑さによる死亡が多かった。 ・ハブ捕獲器設置にあたり、村民等に対し必要性等周知の徹底が必要。	・年度当初からの早期着手を図る為、申請事務処理を確実に行う。 ・ハブの活動が活発となる4～5月に向け、委託業務を発注し、ハブ等の駆除作業に取り組み観光客等への危険性の除去を図る。 ・マウスの管理において、一層の暑さ対策を図る。 ・事業の概要等を村HP等を活用し、周知を図る。 ・捕獲器の設置について看板等を設置する。
今後の取り組み方針		
・4月初旬での早期着手を行い業務を発注し、ハブ等の活動が活発になる前に捕獲器を設置することにより危険性の除去に努める。 ・捕獲器設置箇所に設置を周知する看板を設置する。また、村HPに事業内容等を掲載し、住民並びに観光客等に対し捕獲器設置への理解協力を促すと共に危険事業内容についての周知に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,939</td><td>4,939</td><td>3,951</td><td>988</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,939	4,939	3,951	988	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,939	4,939	3,951	988	0										
読谷村 4,939千円 委託料 4,514千円 (有)読谷環境 4,514千円 ハブの捕獲・巡回・処分委託 事務費 425千円 需用費(消耗品:ハブ捕獲器購入) (消耗品:マウス餌購入)														
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託事業者は、指名競争入札方式により決定した。 県内実績を勘案し選定しており、妥当であったと考える。 ○ 不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○ 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1- ヨミタンJOHO発信事業（読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-イ		
担当部課名	建設経済部 商工観光課		事業実施（予定）年度	平成25～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 -1-(1)	
事業内容	那覇から読谷にかけての本島西海岸一帯で聴取可能なコミュニティFM放送局「FMよみたん」を活用し、主にレンタカーを利用する観光客を、国道58号より西側の本村内に誘導することを目的に、観光情報番組を毎日午前中の移動想定時間帯に制作・放送する。 また、周波数を明示した読谷村観光情報紙を空港やレンタカー事業所等に配布し、聴取機会の向上を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,885	6,636			
		(b) 予算現額	3,885	6,636			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 前年度繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	3,885	6,636			
	B. 執行済額		3,885	6,199			
	うち交付金充当額		3,108	4,959			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（％）(B/A)		100.0%	93.4%			
予算の状況の説明		番組周知用のチラシの配布媒体及び配布方法を変更したことにより、当初計画額から残が生じ不用となった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	FM放送を活用した観光情報の提供チラシ作成	目 標	(30,000枚作成)	(100,000枚作成)	()	()	
		実 績	100,000枚作成	68,500部作成			
		目 標			()	()	
		実 績					
達成状況説明	事業期間中（平成26年4月1日～平成27年3月31日）は毎日放送を行った。 当初、レンタカー利用者へ同番組周知用のチラシを100,000部作成・配布を予定していたが、配布時期等について配布協力者との調整に時間を要したため、チラシの媒体及び作成部数に変更が生じ68,500部となった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（25年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（年度）
	FM放送番組の制作・放送（毎日）	目 標	(FM放送番組の制作・放送（毎日）)	(FM放送番組の制作・放送（毎日）)	()	()	()
		実 績	FM放送番組の制作・放送（毎日）	FM放送番組の制作・放送（毎日）			
	チラシ配布	目 標	(チラシ配布)	(100,000枚配布)	()	()	()
		実 績	チラシ100,000枚配布	68,500部配布			
	進捗状況説明	事業期間中（平成26年4月1日～平成27年3月31日）は毎日放送を行ったことで、多くのレンタカー利用者に読谷村の情報を発信しよう努めた。 チラシは配布時期等について配布協力者との調整に時間を要したため、チラシの媒体及び作成部数に変更が生じ68,500部配布した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	過年度配布の協力をもらっていた事業者より配布への協力が得られなくなったため、作成・配布計画の変更を余儀なくされた。また、次年度も本年同様に配布について協力が難しいとされた。一方、年間135万台(一日あたり3,700台)のレンタカーが県内で貸渡されているが、現行のチラシによる周知方法では経費等に限界がある。 商工会、観光協会との情報共有について、委託先からフィードバックされた情報の共有が不十分であった。	より多くのレンタカー利用者が村への誘客に結びつくよう、効果的な番組の周知方法を検討する。 フィードバックされた情報の共有方法を再検討し、情報の効果的活用を図る。
今後の取り組み方針		
県内主要レンタカー会社が加盟するレンタカー協会発刊の冊子に掲載を目指す。同紙への掲載により、より多くのレンタカー利用者に番組情報が行き届くため、村への誘客が期待できる。 観光協会、商工会との情報共有の方法を改善することで、フィードバックされた情報を効果的に活用する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
6,199	6,199	4,959	1,240	0

読谷村
6,199千円

→

委託料
6,199千円

→

FMよみたん
6,199千円

〔番組制作・放送及びチラシ制作・配布
にかかる委託業務〕

資金の流れ、 費目・ 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 県内コミュニティ放送局3社からの見積徴集により、読谷村でコミュニティFMを運営するFMよみたんを支出先に選定した。 ○ 予算規模は見積もり及び前年度の実績を考慮し、設定しており、妥当であったと考える。 ○ 村内事業者を選定した結果、村内の様々な情報を適正なタイミングで発信できたと考える。 ○ 費目・使途は事業目的に応じて適正に定められている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	世界遺産座喜味城跡管理活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ア	
担当部課名	教育委員会文化振興課		事業実施(予定)年度	平成25～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 - 1 - (1)	
事業内容	読谷村(沖縄県)には歴史文化の代表的シンボルである世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群(座喜味城跡)」を筆頭に、様々な歴史的文化的遺産が所在する。これらを重層的に活用し、冬場の観光客の減少時期の観光客の誘導を狙う。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	53,218	14,736			
		(b)予算現額	51,792	11,236			
		(c)増減額(b-a)	▲ 1,426	▲ 3,500			
		(d)繰越額	0	0			
		A.計(b+d)	51,792	11,236			
	B.執行済額		29,052	11,170			
	うち交付金充当額		23,241	8,935			
	次年度繰越額			0			
	執行率(%) (B/A)		56.1%	99.4%			
予算の状況の説明		当初計画していた事業計画はすべて実施した。当初予算額よりの減額は入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
				25年度	26年度	27年度	28年度
	座喜味城跡のライトアップの実施	目 標	(実施)	(実施)	(-)	(-)	
		実 績	実施	実施	-	-	
	座喜味城跡ガイドリーフレット印刷	目 標	(なし)	(実施)	(-)	(-)	
		実 績	なし	実施	-	-	
	城壁清掃の実施	目 標	(実施)	(実施)	(-)	(-)	
		実 績	実施	実施	-	-	
	入場者数計測の実施	目 標	(実施)	(実施)	(-)	(-)	
		実 績	実施	実施	-	-	
達成状況説明	ライトアップについては11月～1月末まで実施した。また、周知のためのポスターとチラシをライトアップ前に作成、配布を行った。ライトアップ前の(10月21日～11月6日)城壁清掃を行った。 入場者計測は5月25日～5月31日、7月28日～8月3日、11月3日～11月9日の3回実施した。 座喜味城跡のリーフレットは多言語(日、英、繁体、簡体、韓体)で45,000枚作成を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	座喜味城跡のライトアップ 来場者数150人/日	目 標	()	(200人/日)	(150人/日)	()	()
		実 績		8,595人 84人/日	10,408人 115人/日		
	座喜味城跡ガイドリーフレットの配布 45,000部	目 標	()	(-)	(45,000部)	(-)	()
		実 績		-	45,000部	-	
	入場者数計測(3回:計21日)	目 標	()	(実施)	(3回:計21日)	(-)	()
		実 績		実施	3回:計21日	-	
						(-)	()
						-	
	進捗状況説明	ライトアップ事業ではポスター・チラシ配布による早めの周知に努め前年度よりも来場者は増加したが目標には至らなかった。その理由として雨天が8日、うち1日は中止したため目標より下回った。 座喜味城跡リーフレットは日本語の他、英、繁体、簡体、韓体に対応することで、近年の外国人観光客にも座喜味城跡の情報を正確に提供できるようになった。完成後、座喜味状入り口に配布ブースを用意し、日中の来場者にも配布を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	座喜味城跡のライトアップ 来場者数は天候や連携イベントの有無、継続回数に影響されると考えられる。 座喜味城跡リーフレット リーフレットは座喜味城跡の理解に非常に有用であるが、インバウンド(外国人旅行者)対応となるとどこまで翻訳した資料を用意するかが課題となる。	座喜味城跡のライトアップ 民泊協会会員など座喜味城跡に客を連れてくる団体、個人が繰り返し来場することから、ライトアップにはリピーターを引きつける魅力があることが確認できた。今後も周知に力を入れ、他イベント、団体との連携の強化を検討する。 座喜味城跡リーフレット 座喜味城跡に加えて、そのほかの配付場所の検討を行う。
今後の取り組み方針		
座喜味城跡のライトアップ 来場者増を目指し、観光業界や情報発信能力が高い観光協会などの村内の団体に情報提供を密に行う。より早めに周知を行う。 座喜味城跡リーフレット 座喜味城跡以外でも、村内ホテルなどへ提供していく。 三次元映像コンテンツ 過年度実施したものについても、内容の追加、充実を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
読谷村 11,170 千円 委託料 10,194千円 印刷製本費 976千円 読谷協同産業株式会社 864千円 読谷協同産業株式会社 463千円 隆松電気 2,808千円 読谷協同産業株式会社 6,059千円 東洋企画印刷 177千円 東洋企画印刷 799千円 座喜味城清掃 座喜味城跡入場者計測 座喜味城跡ライトアップ業務 座喜味城跡ライトアップ警備業務 座喜味城跡ライトアップポスターチラシ印刷料 座喜味城跡リーフレット作成				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,170	11,170	8,935	2,235	0
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札方式等により決定した。県内実績を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は入札に付したことで適正規模となった。 ○不用額は入札残である。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	ヨミタンブランドカパワー・アップ大作戦事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部課名	建設経済部 商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成25～30年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 -1-(1)	
事業内容	読谷村そのものや読谷村で生産される、ヤチムン、織物等の伝統工芸品や農水産物及び加工品等のいわゆる読谷村の特産品をトータルで読谷ブランド品と位置づけ、その良さを全世界に発信するための取り組みを行う。 平成26年度は、平成25年度事業において決定したブランドキャッチコピー、ロゴ、イメージキャラクター等を活用したプロモーション活動を展開していく。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+ 「市町村負担」 ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	4,200	6,470			
		(b)予算現額	4,200	6,470			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)前年度繰越額	0	0			
		A.計(b+d)	4,200	6,470			
	B.執行済額		3,885	3,848			
	うち交付金充当額		3,108	3,078			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（％）(B/A)		92.5%	59.5%			
予算の状況の説明		当初イメージキャラクター等のブランドイメージを守るため商標登録を予定していたが、村内事業者等へ広く利用していたため、登録を取り止めた。また、イメージキャラクター就任式(お披露目式)を他イベントと併せて実施したことなどにより、不用額が生じた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
	イメージキャラクター着ぐるみの作成	目 標	(着ぐるみの作成)	()	()	()	
		実 績	着ぐるみの作成				
	プロモーション事業の検討	目 標	(検討)	()	()	()	
		実 績	検討				
	達成 状況 説明	計画どおりイメージキャラクター着ぐるみを作成するとともに、「よみたんブランド向上委員会」を開催し、よみたんブランド及びプロモーション方法について検討を行い、認定要綱(案)等を作成した。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		26年度	27年度	28年度	29年度	目標値 (年度)
	イメージキャラクター着ぐるみの完成	目 標	(着ぐるみの完成)	()		()	()
		実 績	着ぐるみの完成 (2体)				
	プロモーション事業の実施	目 標	(3事業)	()		()	()
		実 績	3事業				
	進捗 状況 説明	過年度に決定した、観光誘客と本村のブランド力向上に向けた基本コンセプト、キャッチコピー、ロゴマーク等をイメージキャラクター等とおし宣伝広告することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	よみたんブランド向上委員会において、文化財や工芸品、自然や景観等からなるベースブランドを認定を行ったが、これらベースブランドをもとに村民等から新たな特産品などのブランド募集を呼びかけ、認定する予定であったが、ベースブランドの認定に時間を要し、募集、認定まで至ることができなかった。	募集をかけるブランド候補を審査等を行う基準を早期に策定するとともに、読谷村のブランド構築に向けた取組を広く周知する必要がある。
今後の取り組み方針		
今回認定したベースブランドをHP等で発信すると同時に、村民等から新たなブランド候補の募集を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
読谷村 3,848千円 → 委託料 3,848千円 (有)アイディーブラン 279千円 (有)メディコプレス 1,076千円 (株)リマープロ 293千円 (株)アメージングデザイン 167千円 mocha_graph 217千円 (有)メディコプレス 1,816千円 キャラクターイラストパターン作成 キャラクター着ぐるみ制作 バックボード制作 キャラクターピンバッチ制作 よみたんブランド認定ステッカー等制作 キャラクター着ぐるみ付属品等制作				
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額
		3,848	3,848	3,078
				市町村 負担金
				770
				交付対象 外経費
				0
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○ 委託相手の選定については随意契約を採用したが、業務の性格と内容に照らし妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○ 予算規模については、他事業との合同実施等により不用額が生じたものの、事業目的を概ね達成したため、適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○ 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-	読谷村スポーツコンベンション誘致促進施設整備基本計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア			
担当部課名	教育委員会 生涯学習課		事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 -1-(1)		
事業内容	平成24年度に策定された第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用計画に示す運動施設の整備を進めるにあたり、本村及び沖縄県が推進するスポーツコンベンション等のスポーツと観光の融合を視野に入れた施設の整備を計画的、効果的に推進するため、各施設の整備計画を定めるなど、業務執行の指針を策定する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		(a)当初予算額	15,671					
		(b)予算現額	8,100					
		(c)増減額(b-a)	▲ 7,571					
		(d)繰越額	-					
		A . 計(b+d)	8,100					
		B . 執行済額	8,100					
		うち交付金充当額	6,480					
		次年度繰越額	0					
		執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	当初予算額と予算現額の差額(7,571千円)は、当初の予定では基本計画に実施計画まで盛り込む予定であったが、発注にあたり、発注業務を精査した結果、基本計画のみの発注をおこなった。実績では、実施計画を除いた分及び委託費の入札による歳出減によるものであり、予定変更後に計画していた事業内容は、すべて実施した。							
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	村民センター地区内の運動施設ゾーンの施設整備計画及び施設規模、施設利用計画等の検討	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	村民センター地区内の運動施設ゾーンの施設整備計画及び施設規模、施設利用計画等の策定を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	基本計画の策定完了	目 標	()	(基本計画)	()	()	()	
		実 績		基本計画完了				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	「読谷村スポーツコンベンション誘致促進施設整備基本計画」を策定したことで、運動施設ゾーン(村民センター地区)の環境整備を進める上で、整備のあり方、今後の検討課題、開発の際の留意事項が明らかになったことにより、事業計画を進める為の指標が出来た。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	個性のある読谷村の運動施設ゾーン(村民センター地区)を形成するためには、地域全体に対して総合的に環境整備を進めていく必要があり、地区全体に対する整備水準を設定して、そのうちの運動ゾーンに最もふさわしい景観計画や環境整備計画を策定する必要がある。	景観計画や環境整備計画を策定するには、村役場の担当部署はもちろん地域の有識者、関係する技術者が中心となった委員会を設置し、事業計画を検討調整して、計画的なで調和の取れた運動施設ゾーン(村民センター)の環境整備を進めていく必要があると考える。
今後の取り組み方針		
平成26年度の単年度事業である。 今後は、運動施設ゾーンを整備を進めていけるよう、課題等の精査を行うため村役場の担当部署はもちろん地域の有識者、関係する技術者が中心となった委員会を設置し、事業計画を検討調整して、計画的で調和の取れた運動施設ゾーン(村民センター)の環境整備を進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>8,100</td><td>8,100</td><td>6,480</td><td>1,620</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,100	8,100	6,480	1,620	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
8,100	8,100	6,480	1,620	0										
読谷村 8,100千円 → 委託料 8,100千円 → (株)ワールド設計 8,100千円 (基本計画策定に係る委託業務)														
資金の流 れ、使 途の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 委託関係積算参考資料に基づいた積算や見積りを比較して予算規模を決定しているため、適正な予算規模であると考えている。 ○ 費目および使途は事業目的を達するために必要なものであったと判断している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-	読谷まつり運営事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ		
担当部課名	総務企画部 総務課		事業実施 (予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	地域の伝統文化を継承・創造・発展するため、村民総参加により開催している読谷まつりを村内外、県外等へ広くPRするとともに観光誘客へ繋げるため、40周年の節目として第40回読谷まつりを開催する。							
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の 状況		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		(a)当初予算額	7,840					
		(b)予算現額	7,840					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)繰越額	0					
		A. 計(b+d)	7,840					
		B. 執行済額	7,512					
		うち交付金充当額	6,009					
		次年度繰越額	0					
		執行率(%) (B/A)	95.8%					
	予算の状況の説明	計画通り執行した。不用額328千円は入札残である。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	まつりの開催日数:3日	目 標	(3日間開催)	()	()	()		
		実 績	3日間開催					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状況 説明	40周年記念となる読谷まつりを10月24日(金)、25日(土)、26日(日)の3日間開催した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (25年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)	
	来場者数	目 標	(7万人)	(10万人)	()	()	()	
		実 績		11.2万人				
	県外団体受入	目 標	(3団体)	(7団体)	()	()	()	
		実 績		7団体				
	進捗 状況 説明	読谷まつり会場内にて来場者数のチェックを行い、目標を上回る延べ11.2万人の来場者に繋げることができた。新聞やラジオ、村の広報誌やホームページ、電光掲示板を活用し、読谷まつりのPRを行った。また、県外での村関係イベントでもチラシの配布等を行った。今後も村内外へのPRを継続し、来場者数の増加に取り組んでいきたい。 県外団体受入については、まつりへの出演や出店ブース、スタッフとして目標通り7団体を受け入れることができた。今後も本村の関係団体へ積極的に働きかけ、多くの団体を受け入れ、県外へのPRに繋げていきたい。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	読谷まつりは例年2日間の開催であったが、40周年記念として、前日祭を設け、3日間の開催とした。 多くの来場者数に繋げることができたものの、通常の開催となる次年度以降も来場者を繋ぎ止めることができるかが課題である。 また、10月は県内でもイベントが多く、今回は県の産業まつりと日程が重なった。影響について明確な数字は出せていないものの、来場者が分散してしまったことが考えられ、日程が重なっていなかったのであれば、さらに来場者が増えた可能性がある。今後は日程の設定については県内イベントも考慮する必要がある。	・村内外への更なるPR(広報の強化等) ・村内団体の活用(商工会青年部等) ・県内イベントの情報収集
今後の取り組み方針		
次年度以降も地域の伝統文化を継承・創造・発展するため読谷まつりを開催していく。読谷まつりは村民総参加の特色あるまつりである。そこが他市町村のまつりに劣らない魅力であるため、今後も魅力あるまつりを開催し、村内外へ発信できるよう、村内各種団体が構成している実行委員会の連携を深め取り組んでいく。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		7,512	7,512	6,009
				市町村負担金
				1,503
				交付対象外経費
				0
読谷村 7,512千円 需用費 1,145千円 比嘉材木店 1,145千円 〔舞台作成用ベニヤ板、足場板の購入〕 賃借料 1,512千円 大武建設株式会社 756千円 株式会社 エムズ 756千円 〔舞台および照明用足場賃借料〕 〔発電機、パワーライト賃借料〕 委託料 4,855千円 読谷協同産業株式会社 3,056千円 有限会社 沖縄花火 1,799千円 〔会場内外警備業務委託〕 〔花火業務委託〕				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価、 費目	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○花火業務委託のみ随意契約であるが、指名競争入札を実施し、不落による随意契約であるため、妥当である。その他の支出先は指名競争入札による落札業者であるため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算規模は見積もり及び前年度の実績を考慮し、設定した。不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目及び使途は事業目的を達するために必要なものであったと判断している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	スポーツコンベンション誘致促進事業(設備等強化事業)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
担当部課名	読谷村教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立		
事業内容	体育施設における利用者のニーズが高い設備等を設置し、利便性の向上を図るとともに、スポーツコンベンションの誘致促進に寄与する。						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	12,680				
		(b)予算現額	9,218				
		(c)増減額(b-a)	▲3,462				
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	9,218				
	B.執行済額		9,218				
	うち交付金充当額		7,374				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100%				
予算の状況の説明		当初予算額と予算現額の差が3,462千円発生しているが、入札残による歳出減によるものであり、当初計画していた設備等はすべて設置した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	スポーツコンベンションに係る設備等発注	目 標	(設備等発注)	()	()	()	
		実 績	設備等発注				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	ピッチングマシン他19品目の設備等を設置したことにより、スポーツキャンプ(プロ、実業団等)に対応するにあたり、活かされた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	スポーツコンベンションに係る設備等設置完了	目 標	()	(設備等設置)	()	()	()
		実 績		設備等設置完了			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	ピッチングマシン他19品目の設備等を設置したことにより、スポーツコンベンション誘致に対する対応力が増した。H28の目標であるスポーツキャンプ(プロ・実業団等)受入チーム数10チームの達成に向け、努めていきたい。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	スポーツコンベンションの誘致を進めていく一方、それに伴う設備等が充実していなかった。本事業で利用者のニーズが高い設備等を設置したことにより、スポーツコンベンション誘致に対する対応力が増した。	本事業で設置した設備等の長期的な運用及び維持管理について検討していく必要がある。
今後の取り組み方針		
スポーツキャンプ(プロ、実業団等)の誘致を図るとともに、各種大会で活用できるよう、設備等の維持管理に努める。また、本事業で購入した設備等をHPや広報誌等に掲載し、広く周知できるように努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>9,218</td><td>9,218</td><td>7,374</td><td>1,844</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,218	9,218	7,374	1,844	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,218	9,218	7,374	1,844	0										
読谷村 9,218千円 → 備品購入費 9,218千円 → スポーツプラザAP 9,218千円 〔 設備等設置 ピッチングマシン他19品目 〕														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 事業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 予算規模は、3業者より見積もりを徴取し、比較して決定しているため、適正な規模であると考えている。 ○ 費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	観光漁業推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (7) - (イ)	
担当部課名	建設経済部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	流通・販売・加工対策の強化		
事業内容	観光漁業の推進及び漁業振興を図るため、増加する漁業研修や観光客の受入体制を強化する必要があることから、漁業協同組合集会所の機能強化を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,315				
		(b) 予算現額	2,315				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 繰越額	-				
		A. 計 (b+d)	2,315				
	B. 執行済額		2,200				
	うち交付金充当額		1,760				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		95.0%				
予算の状況の説明		執行残の115千円については入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	集会所機能強化補助	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	空調設備等の設置を行い目標であった集会所機能強化を行うことが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(26年度)
	空調設備設置	目 標	()	(完了)	()	()	()
		実 績		完了			
	研修・視察対応機器等設置	目 標	()	(完了)	()	()	()
		実 績		完了			
	進捗状況説明	空調設備等の設置を行い目標であった集会所機能強化を行い、観光客等の受入体制の強化が図られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観光漁業の推進を図るための集会施設機能強化は、問題なく完了する事ができた。	集会施設機能強化を行うことで、観光客等の受入体制の強化ができた。読谷漁協と連携し周知等を行う。
今後の取り組み方針		
平成26年度単独事業である。 今後は、読谷漁協と連携し視察や団体の食事客等の誘客を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,750</td><td>2,200</td><td>1,760</td><td>440</td><td>550</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,750	2,200	1,760	440	550
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,750	2,200	1,760	440	550										
読谷村 2,200千円 補助金 2,200千円 読谷村漁業協同組合 2,200千円 漁協負担分 (交付対象外経費) 550千円 ・平成26年度読谷村漁業協同組合漁民集会施設クーラー購入設置事業 ・平成26年度読谷村漁業協同組合漁民集会施設備品購入事業														
資金の流 使途の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本村唯一の漁業協同組合である読谷村漁業協同組合へ補助を行い集会施設機能強化を行うことが出来た。 ○補助金の割合については規則に沿って補助し、補助先の読谷村漁業協同組合も指名競争入札を行っており事業は適切だった。 ○観光漁業の推進及び漁業振興を図るための集会施設機能強化事業であり、読谷漁協の検査も行っており、規模、目的等についても適切だった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 小中学校情報教育支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
			沖縄振興基本方針該当箇所		-3-(1)		
事業内容	島しょ県であるハンディを克服し、国際性豊かな人材育成と情報教育を活用した学力向上への環境を整えるため、読谷村内小中学校に情報教育支援員を配置する。						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	1,562	4,200	6,475		
		(b)予算現額	1,562	4,200	6,475		
		(c)増減額(b-a)	0	0	0		
		(d)前年度繰越額	-	-	-		
		A.計(b+d)	1,562	4,200	6,475		
	B.執行済額		1,144	4,159	5,939		
	うち交付金充当額		915	3,327	4,751		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		73.2%	99.0%	91.7%		
予算の状況の説明		当初の計画通り予算を適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
	情報教育支援員配置 小学校(5校)	目 標	(小学校1名)	(小学校1名)	(小学校2名)	()	
		実 績	小学校1名	小学校1名	小学校2名		
	情報教育支援員配置 中学校(2校)	目 標	(中学校1名)	(中学校1名)	(中学校1名)	()	
		実 績	中学校1名	中学校1名	中学校1名		
	達成状況説明	小中学校においてICTを活用した授業を展開するための情報教育支援員配置を行い、パソコン教室での担当教諭の補佐、ホームページの更新指導等を含め、情報教育による学力向上のための環境づくりを行う事ができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	情報教育支援員を小学校(5校)、中学校(2校)で3名配置し、ICT関連機器の活用のため、児童、生徒、教員へのサポートを行う	目 標	(0名)	(小学校1名 中学校1名)	(小学校1名 中学校1名)	(3名)	()
		実 績		小学校1名 中学校1名	小学校1名 中学校1名	3名	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	年間を通し、小中学校に情報教育支援員を配置することで、ICTを活用した学習指導及び、教諭のサポートを行うことができた。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	情報教育支援員を昨年度より増員し配置した事により、情報教育についての理解が深まり授業の中で積極的に活用する場面は増えたが、加えて、導入済みの電子黒板を更に活用した授業を展開するために学習環境を整えて欲しいとの声が多かった。	電子黒板をより活用できる学習環境を整え、情報教育支援員と担当教諭の連携を強化していく必要がある。
今後の取り組み方針		
情報教育支援員の支援と合わせて電子黒板の活用を強化した授業を展開をする事で、全ての児童が理解しやすい授業を行う事ができると考え、小学校へデジタル教科書を配備し、学習環境を整えながら、情報教育支援員による支援を行っていく予定である。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,476</td><td>5,939</td><td>4,751</td><td>1,188</td><td>537</td></tr> </table> 読谷村 5,939千円 報酬 6,476千円 情報教育支援員 3名 読谷村負担分537千円 (対象外経費)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,476	5,939	4,751	1,188	537
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,476	5,939	4,751	1,188	537										
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 読谷村嘱託職員の任用等に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。 ○ 読谷村嘱託職員の任用等に関する規則、要綱により予算規模を決定しており、適正な規模であった。 ○ 費目・使途は、支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 日本語教育支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(2)-ア		
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	
						-3-(1)	
事業内容	二重国籍や帰国児童等日本語を習得していない児童に対し、小学校の授業時に通訳や内容説明、他児童との交流の仲介等を行い、小学生生活に順応できるように支援を行う。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	2,136	4,219	4,314		
		(b)予算現額	2,136	2,999	4,314		
		(c)増減額(b-a)	0	▲ 1,220	0		
		(d)前年度繰越額	-				
		A.計(b+d)	2,136	2,999	4,314		
	B.執行済額		2,135	2,898	3,768		
	うち交付金充当額		1,708	2,318	3,014		
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	96.6%	87.3%		
予算の状況の説明		・計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	日本語教育支援員配置 (小学校5校)	目 標	(2 名)	(2 名)	(2 名)	()	
		実 績	2 名	2 名	3 名		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・二重国籍や帰国児童等日本語を習得していない児童に対し、小学校の授業時に通訳や内容説明、他児との交流の仲介等を行い、小学生生活に順応できるように支援を行った。 ・外国籍児童の就学増加により、日本語教育支援員配置校を1校増。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	日本語を習得していない外国籍児童や二重国籍児童及び帰国児童への対応でクラス全体の授業の進捗に影響が生じているなどの教育現場の課題解消に努めるため日本語教育支援員2名を配置する。	目 標	(0 名)	(2 名)	(2 名)	(配置)	()
		実 績		2 名	2 名	配置	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	年間を通し、日本語教育支援員を配置することで、支援を必要とする児童のサポートを行うことができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	日本語教育支援員を配置することにより、担任とのきめ細やかな連携ができ、対象児童への正しい日本語教育を行うことや、保護者とのコミュニケーションはスムーズに行えたが、外国籍の児童が増え、学校長から日本語教育支援員の増員及び、勤務時間の延長の要望がある。	教諭免許状保持者の人材確保が困難なことから、資格にとらわれず、英語による日常会話・日本語指導・授業内容の説明を行える者であるなど責任者が認める者であれば採用するなど、採用条件の緩和も今後は考えていく必要がある。
今後の取り組み方針		
昨今、二重国籍児童や帰国子女、または外国籍のみを保持した児童の編入学が増加している状況であり、学校現場における日本語支援員の必要性が高まっている。 現在、日本語教育支援員3名を小学校3校へ配置しているが、対象児童の増加に伴い、各小学校へ1名若しくは、対象児童が多い学校に対しては数名を配置していく予定である。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,082</td><td>3,768</td><td>3,014</td><td>753</td><td>314</td></tr> </tbody> </table> 読谷村 3,768千円 報酬 4,082千円 日本語教育支援員 3名 読谷村負担分314千円 (対象外経費)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,082	3,768	3,014	753	314
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,082	3,768	3,014	753	314										
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。 ○読谷村嘱託職員の任用等に関する規則、要綱により予算規模を決定しており、適正な規模であった。 ○費目・使途は、支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2 - 小中学校学習支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア				
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成26～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所				
事業内容	小中学校において、学習に遅れが生じている児童・生徒を対象に、自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解し、確かな学力の定着を図るため、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置する。							
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	15,482					
		(b)予算現額	15,482					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)前年度繰越額	-					
		A.計(b+d)	15,482					
	B.執行済額		14,074					
	うち交付金充当額		11,237					
	次年度繰越額		-					
	執行率(%) (B/A)		90.9%					
予算の状況の説明		・計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	学習支援員配置 (小学校5校)	目 標	(5 名)					
		実 績	5 名					
	学習支援員配置 (中学校2校)	目 標	(2 名)					
		実 績	2 名					
達成状況説明	小中学校において、学習に遅れが生じている児童・生徒を対象に、確かな学力の定着を図るため、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員の配置を行うことができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (25年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)	
	担任教諭、算数・数学指導教諭と連携し、算数・数学等の学習に遅れがある児童生徒への支援を行う。	目 標	(0 名)	(配置)				
		実 績		配置				
		目 標	()		()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	年間を通し、学習支援員を配置することで、算数・数学に学習の遅れが生じている児童・生徒のサポートを行うことができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・学習支援員を配置し、クラス担任や教科担任との連携により、対象児童・生徒へきめ細やかな支援を行うことができたが、全国平均に近づける為には、更なる基礎学力の定着を図ることが課題である。 ・平成26年度全国学力学習状況調査結果(全国平均との差) (小学校)算数A - 0.2ポイント 算数B - 5.9ポイント (中学校)算数A - 7ポイント 数学B - 6.9ポイント	全国学力学習状況調査(算数・数学)において全国平均を上回るためには、事業の継続と学習支援員の増員も今後必要である。
今後の取り組み方針		
小学校(算数)・中学校(数学)の学習において、「分かる授業」「参加する授業」を行える体制を構築するため、学校側とも協議し、事業継続及び学習支援員の増員を検討する。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>15,324</td><td>14,047</td><td>11,237</td><td>2,810</td><td>1,277</td></tr></table> 読谷村 14,047千円 報酬 15,324千円 学習支援員 5名 読谷村負担分1,277千円 (対象外経費)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	15,324	14,047	11,237	2,810	1,277
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
15,324	14,047	11,237	2,810	1,277										

資金の流 点検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 読谷村嘱託職員の任用等に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 読谷村嘱託職員の任用等に関する規則、要綱により予算規模を決定しており、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 費目・使途は、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 特別支援教育支援員配置事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進	
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成26～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	-3-(1)		
事業内容	各幼稚園・小学校・中学校に在籍している、園児・児童・生徒で特別な支援が必要な子たちへの個別支援を行い、対象児に合わせた学校生活を送れるようにする。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+ 「市町村負担」 ベース）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	45,375				
		(b)予算現額	45,375				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)前年度繰越額	-				
		A.計(b+d)	45,375				
	B.執行済額		39,377				
	うち交付金充当額		31,501				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		86.8%				
予算の状況の説明		・計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。 ・特別支援教育支援員の人材確保ができず、採用が遅れたため執行率が低くなった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	特別支援教育支援員配置 幼稚園(5園) 5名 小学校(5校) 10名 中学校(2校) 4名	目 標	(5名 10名)	()	()	()	
		実 績	4名 5名 10名 5名				
	特別支援教育専門指導員 1名 特別支援教育推進員 1名	目 標	(1名 1名)	()	()	()	
		実 績	(1名 0名)				
達成状況説明	心身の障害、発達障害といった、適切な支援が必要な幼児・児童生徒に対し、学校(園)の場において、自立と社会適応能力を高める支援を行うことができた。 ・中学校において、病変の進行により支援を要する症状が現れた生徒のため、学校配置の支援員を1名増員した。 ・特別支援教育推進員1名を配置することが出来なかった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (25年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)
	支援が必要な子に合わせた支援を行う事で、在籍中の困り感をなくし、また、自立へ向けた支援を行う事で、通常学級への復帰、社会適正能力を高める	目 標	(0名)	(実施)	()	()	()
		実 績		実施			
		目 標	()		()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・特別支援教育支援員を配置することで、支援の必要な児童生徒の学習・生活面においてのサポートを行うことができた。 ・特別支援教育推進員1名の採用はできなかったが、中学校にて病変の進行により支援を要する症状が現れた生徒のため、学校配置の支援員1名を増員した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・特別支援教育支援員を配置することにより、授業環境は改善していると思われるが、支援を要する児童生徒の実態や課題がそれぞれ異なる為、特別支援教育支援員の取り組みや対応等に違いがあり、支援の向上に時間を要し、継続的な支援が必要である。また、スキルアップの為、研修会等を増やす必要がある。	よりきめ細かで継続的な支援が行えるよう、特別支援教育支援員の増員を検討する必要がある。また、早期に職員を採用するため、学校からの職員推薦等も行ってもらよう協力体制も構築していく必要がある。特別支援教育支援員と関係教諭を交えた研修会等を行い、両者が共通認識(理解)をしていく必要がある。
今後の取り組み方針		
・支援を要する個々に合わせた対応で、自立に向けた社会的性能能力を高める支援を行っていくため、特別支援教育支援員と関係教諭を交えた研修会等を行うとともに特別支援教育支援員の増員を検討していく予定である。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
42,674	39,377	31,501	7,876	3,297

読谷村
39,377千円

報酬
42,674千円

特別支援教育
支援員
21名

読谷村負担分3,297千円
(対象外経費)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	読谷村嘱託職員の任用等に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。 読谷村嘱託職員の任用等に関する規則、要綱により予算規模を決定しており、適正な規模であった。 費目・使途は、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		2 - 中学校ICTパソコン教室機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(3)-イ	
担当部課名		教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所		豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 -3-(1)	
事業内容		学校教育に資する学校教育用パソコンを中学校へ導入し、情報化社会に対応する上で必要な知識・技能の習得を図る。また、教科の中で活用することにより効率的な知識の習得定着に役立てる。						
実施方法		☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）				26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		予算の状況	(a)当初予算額	27,719				
			(b)予算現額	27,719				
			(c)増減額(b-a)					
			(d)前年度繰越額	-				
			A.計(b+d)	27,719				
		B.執行済額		26,989				
		うち交付金充当額		21,591				
		次年度繰越額		0				
		執行率(%) (B/A)		97.4%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況		H26活動目標(指標)		達成状況				
				26年度	27年度	28年度	29年度	
		読谷中学校:41台の購入	目 標	(41台購入)	()	()	()	
			実 績	41台購入				
		古堅中学校:41台の購入	目 標	(41台購入)	()	()	()	
			実 績	41台購入				
		達成状況説明	村内中学校2校へ教育用PCを整備し、パソコン教室機能強化を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況		H26成果目標(指標)		基準値(25年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
		教育用PCを読谷中学校へ41台、古堅中学校へ41台設置整備する。	目 標	(0名)	(設置)	()	()	()
			実 績		設置			
			目 標	()	()	()	()	()
			実 績					
		進捗状況説明	読谷中学校へ41台、古堅中学校へ41台の設置整備する事ができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	情報教育支援員を活用しながら情報教育の充実及びICTを効果的に活用することによる「分かりやすい授業」が展開されているが、1校はADSL回線であることから通信速度が遅い状況である。	情報教育支援員の協力も得ながら、教諭のスキル向上を図るため、研修会や説明会等を行い、生徒へより「分かりやすい授業」を行っていく。また、回線を光へ変更しストレスのない画面展開で授業が行えるよう整備が必要である。
今後の取り組み方針		
導入したICT機器を快適な環境で有効活用した授業を展開していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>26,989</td><td>26,989</td><td>21,591</td><td>5,398</td><td>0</td></tr> </table> 読谷村 26,989千円 備品購入費 26,989千円 株式会社オキジム 26,989千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	26,989	26,989	21,591	5,398	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
26,989	26,989	21,591	5,398	0										
資金使途の流点検評価項目	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。 ○ 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-	小中学校日除け休憩所設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (3) - イ		
担当部課名	教育委員会 教育総務課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進			
					-3-(1)			
事業内容	村内小中学校の屋外運動場に日除けになる休憩所を設置することにより、児童生徒等の熱中症予防を図る。							
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		(a)当初予算額	16,128					
		(b)予算現額	16,128					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)繰越額	-					
		A . 計(b+d)	16,128					
		B . 執行済額	15,453					
		うち交付金充当額	12,362					
		次年度繰越額						
		執行率(%) (B/A)	95.8%					
	予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。不用額は入札残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	[小学校]4校に設置	目 標	(4校)	()	()	()		
		実 績	4校					
	[中学校]2校に設置	目 標	(2校)	()	()	()		
		実 績	2校					
達成状況説明	以下の屋外運動場に日除休憩所を設置 [小学校]4校に設置 (喜名小:1箇所 古堅小:1箇所 古堅南小:2箇所 渡慶次小:1箇所) [中学校]2校に設置 (読谷中:2箇所 古堅中:2箇所)							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	屋外運動場内に日除休憩所を中学校に4箇所、小学校に5箇所、計9箇所に設置完了(設置率:100%)	目 標	()	(100%)	()	()	()	
		実 績		100%				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	屋外運動場内に日除け休憩所を小学校に5箇所、中学校に4箇所、計9箇所に設置完了						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・身体障がい者等に対する設置場所までのスロープ等が必要となった。	・身体障がい者等が利用しやすいようにスロープ等を単費で設置した。
今後の取り組み方針		
体育や課外活動等において活用を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
読谷村 15,453千円 委託料 3,024千円 有限会社 真玉橋設計事務所 3,024千円 (小中学校日除け休憩所設計監理業務) 工事請負費 12,312千円 有限会社 たまてつ 12,312千円 (小中学校日除け休憩所設置工事) 役務費 117千円 (建築確認手数料)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,453	15,453	12,362	3,091	0
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○ 費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13) - イ		
担当部課名	建設経済部 跡地利用推進課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の計画的な整備 -8		
事業内容	平成25年度実施の楚辺通信所跡地シムクガマ整備・保全基礎調査委託業務報告書に基づき、楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画策定業務を実施する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	8,624				
		(b)予算現額	7,562				
		(c)増減額(b-a)	▲ 1,062				
		(d)繰越額	0				
		A. 計(b+d)	7,562				
	B. 執行済額		7,560				
	うち交付金充当額		6,048				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画どおり執行することができた。 (入札による執行残を減額した。)					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	楚辺通信所跡地にあるシムクガマの戦跡・カー森広場整備に向けた規模等を検討する	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	楚辺通信所跡地にあるシムクガマの戦跡・カー森広場整備に向けた規模等を検討し、基本計画報告書を作成した。今後この報告書をもとに、跡地利用を進める。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画策定業務報告書の完成	目 標	()	(基本計画報告書作成)	()	()	()
		実 績		基本計画報告書作成			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	楚辺通信所跡地にあるシムクガマの戦跡・カー森広場整備に向けた規模等を検討し、基本計画報告書を作成した。今後この報告書をもとに、跡地利用を進める。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	流域上流に住宅地が密集しており、雨水や汚水がシムクガマに流入しているため、水質汚染が見られる。 大雨時に流量が増大するため、ガマを訪れた人が鉄砲水に巻き込まれる恐れがある。	水質改善には、合併浄化槽の普及を図ることを検討する。 鉄砲水対策として、洪水調整機能を持つ修景池の整備を検討する。
今後の取り組み方針		
浄化槽の普及や、地表水の流路不明など、課題が大きい。まずは、測量や詳細な流路調査等を行い、実施計画を策定し、整備に繋げていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費		交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
7,560		7,560	6,048	1,512
				交付対象外経費
				0
読谷村 7,560千円 委託料 7,560千円 株式会社 地域計画研究所 7,560千円 楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場 整備基本計画策定業務				
資金の流点、費目、評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	読谷補助飛行場返還の碑整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13) - イ	
担当部課名	建設経済部 跡地利用推進課		事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の計画的な整備 -8	
事業内容	平成25年度に実施した読谷補助飛行場返還の碑基本計画策定業務に基づき、整備事業を実施する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		(b)予算現額	66,057				
		(c)増減額(b-a)	▲ 16,150				
		(d)繰越額	0				
		A. 計(b+d)	49,907				
	B. 執行済額	うち交付金充当額	49,896				
			39,916				
		次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
	予算の状況の説明		計画どおり執行することができた。 (入札による執行残を減額した。)				
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
	読谷補助飛行場の返還を記念した返還の碑整備工事の実施	目 標	(工事实施)	()	()	()	
		実 績	工事实施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	読谷補助飛行場の返還を記念した返還の碑整備工事を実施し、返還の碑を建立することができ、平和学習等での活用が期待される。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	読谷補助飛行場返還の碑の完成	目 標	()	(碑の完成)	()	()	()
		実 績		碑の完成			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	読谷補助飛行場の返還を記念した返還の碑整備工事を実施し、返還の碑を建立することができ、平和学習等での活用が期待される。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今回建立した返還の碑について、認知度が低い。 駐車場が無く、利用者が不便に感じている。	パンフレットを作成し、各方面に配布すると同時に、村のホームページにも掲載する。 駐車場の整備を検討
今回建立した返還の碑を平和学習等に利用してもらうため、パンフレットの作成やインターネットによる配信などを行い、周知していく。また、駐車場が整備されるまでの間、臨時駐車場を整備し、利用する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
	49,896	49,896	39,916	9,980
				交付対象外経費
				0
<pre> graph LR A[読谷村 49,896千円] --> B[委託料 2,160千円] A --> C[工事請負費 43,200千円] A --> D[委託料 4,536千円] B --> E[永技研株式会社 2,160千円] C --> F[大武建設株式会社 43,200千円] D --> G[永技研株式会社 4,536千円] E --- H[読谷補助飛行場返還の碑実施設計等支援委託業務] F --- I[読谷補助飛行場返還の碑整備事業] G --- J[読谷補助飛行場返還の碑整備現場技術業務] </pre>				
資金の流点、検、評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託事業者、工事事業者、現場技術事業者共には指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。 ○ 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	読谷補助飛行場跡地地区広場実施設計等支援委託事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ		
担当部課名	建設経済部 跡地利用推進課	事業実施(予定)年度	平成25～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の計画的な整備 -8		
事業内容	平成25年度に実施した「読谷補助飛行場跡地地区広場(基本計画)策定業務」に基づき、地区広場の実施設計等支援委託業務を実施する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	2,852	14,115			
		(b)予算現額	2,632	10,053			
		(c)増減額(b-a)	▲ 220	▲ 4,062			
		(d)繰越額	0	0			
		A.計(b+d)	2,632	10,053			
	B.執行済額		2,625	10,044			
	うち交付金充当額		2,100	8,035			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		99.7%	99.9%			
予算の状況の説明		計画どおり執行することができた。 (入札による執行残を減額した。)					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	読谷補助飛行場跡地地区広場実施設計の実施	目 標	(基本計画報告書作成)	(実施)	()	()	
		実 績	基本計画報告書作成	実施			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	読谷補助飛行場跡地地区広場の実施設計を実施し、報告書を作成した。今後この報告書を元に、工事を実施し、地区広場を完成させ、軍用地跡地の跡地利用に資する。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	読谷補助飛行場跡地地区広場実施設計の完了	目 標	()	(実施設計報告書作成)	(完了)	()	()
		実 績		基本計画報告書作成	完了		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	読谷補助飛行場跡地地区広場の実施設計を実施し、報告書を作成した。今後この報告書を元に、工事を実施し、地区広場を完成させ、軍用地跡地の跡地利用に資する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成25年度に地域住民との意見交換会を開催し、その意見を反映した基本計画を作成し、実施設計を進めてきたが、村内にある他の広場に比べ施設が多く、公平性を欠いた計画となっているので、修正が必要と思われる。	村内にある他の広場との公平性を考えた施設内容を検討する。
今後の取り組み方針		
施設群をダウンサイジングし、他地域と公平性の取れた計画に変更し、工事に臨む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>10,044</td><td>10,044</td><td>8,035</td><td>2,009</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	10,044	10,044	8,035	2,009	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
10,044	10,044	8,035	2,009	0										
読谷村 10,044千円 → 委託料 10,044千円 → 株式会社 大洋土木コンサルタント 10,044千円 〔読谷補助飛行場跡地地区広場実施設計等 支援委託事業〕														
資金の流 点検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なもののか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	読谷補助飛行場跡地赤犬子・展望広場及びロードパーク基本設計策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ	
担当部課名	建設経済部 都市計画課		事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の計画的な整備 -8	
事業内容	読谷補助飛行場跡地における赤犬子・展望広場及びロードパークの基本計画について、今後密接に連携する国道バイパスや区画整理地との整合を図るため、基本設計を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(b)予算現額	8,820		25,457		
		(c)増減額(b-a)	8,190		16,744		
		(d)繰越額	▲ 630		▲ 8,713		
		A. 計(b+d)	-		-		
	B. 執行済額	8,190		16,744			
		うち交付金充当額	8,190		16,740		
		6,552		13,392			
		次年度繰越額	0		0		
	執行率(%) (B/A)	100.0%		100%			
予算の状況の説明	当初、用地測量まで予定していたが、今後区画整理等で造成が入ることから、今回は除くことにした為に減額がでた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	赤犬子・展望広場及びロードパーク基本設計の実施	目 標	(基本計画策定)	()	(基本設計)	()	
		実 績	基本計画策定		基本設計		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	基本設計を行うに当たり、与条件の細部検討や諸施設の検討など、委託業者や関係機関との打合せ協議を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	赤犬子・展望広場及びロードパーク基本設計委託業務報告書の完成	目 標	()	(基本計画策定)	()	(業務報告書の完成)	()
		実 績		基本計画策定		業務報告書の完成	
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	基本設計を行うことにより、施設の条件整理や整備工程ができたことで、関係機関との調整を行い、計画実施に向けた実施設計を行った					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	計画地の整備について、計画地に密接に連携する国道バイパスや区画整理地における工事計画(地盤高等)及び計画工程に影響されるため、それらとの整合性を図る必要がある。	計画地に密接に連携する国道バイパスや区画整理地について、それらの工事計画の状況等について、関係機関との密な調整を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
計画地に密接に連携する国道バイパスや区画整理地について、それらの工事計画の状況等について、関係機関との調整を密に行いながら、今後の計画地整備に向けた実施設計業務を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16,740</td><td>16,740</td><td>13,392</td><td>3,348</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	16,740	16,740	13,392	3,348	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
16,740	16,740	13,392	3,348	0										
読谷村 16,740千円 → 委託料 16,740千円 → 有限会社MUI景画 16,740千円 〔基本設計に係る委託業務〕														
資金の 使途の 流れ、 検 査 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 委託関係積算参考資料に基づいた積算や見積りを比較して予算規模を決定しているため、適正な予算規模であると考えている。 ○ 費目・使途については、事業目的に即し、適正であると考ええる。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	嘉手納弾薬庫地区一部返還跡地(国道東南部地区及び周辺) 都市計画決定図書等作成支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ 駐留軍用地跡地の計画的な整備	
担当部課名	建設経済部 都市計画課		事業実施 (予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	-8	
事業内容	多様な環境資源を保全する事で大規模駐留軍用地跡地等の利用推進を図るため、昨年度作成した説明書に基づき、公園と緑地の予定地にかかる都市計画道路を一部変更する事に向けた法定手続図書の作成を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況	(a)当初予算額	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		(b)予算現額	6,513				
		(c)増減額(b-a)	6,513				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	-				
	B.執行済額	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		うち交付金充当額	5,724				
		4,579					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	87.9%					
予算の状況の説明	計画的予算執行に努め業務を執行した。不用額については、入札による執行残によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
	都市計画決定図書等作成支援業務の発注	目 標	26年度	27年度	28年度	29年度	
		(実施)	()	()	()	()	
		実 績	実施				
		目 標	()	()	()	()	
	実 績						
達成状況説明	・都市計画決定図書の原案の作成を行った。 ・事業は計画通りに実施された。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)
	当該地区のまちづくりや、豊かな自然河川と遺跡地区の保全活用の指針をとりまとめる。	目 標	()	(指針とりまとめ)	()	()	()
		実 績		指針とりまとめ			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・地域資源の調査及び土地利用の検討を行い、都市計画決定図書等の原案作成に繋がる指針をとりまとめた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当該区域にかかる都市計画道路の一部を廃止することに向けた法定手続図書の作成を行うことで、周辺地域の良好な自然環境が保全され、大湾東地区ならではの魅力に溢れるまちづくりを構成する。しかし、当該区域を含む自然河川区域やアガリヌウガン遺跡区域は、土地利用計画において保全となっているが、具体的な方針が決定されていないことが課題である。	関係部署(企画財政課・文化振興課)と協議し、具体的な将来計画を決定する。
今後の取り組み方針		
今業務は、跡地で進行しているまちづくりや公園緑地との連続によって豊かな自然河川と遺跡地区の保全活用が約12haのまとまりのある地区として実現が可能となる。また、発掘で確認されたアガリヌウガン遺跡は、比謝川・長田川流域に分布する遺跡群の一つとして重要な価値を保持しており、歴史や文化の拠点の一つとして沖縄観光の振興に寄与する地区として展開できる。 今後も、繰り返し関係機関と協議を重ねていき、具体的な方針の決定が必要となる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,724</td><td>5,724</td><td>4,579</td><td>1,145</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	5,724	5,724	4,579	1,145	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
5,724	5,724	4,579	1,145	0										
読谷村 5,724千円 → 委託料 5,724千円 → 玉野総合コンサルタント株式会社 5,724千円 (嘉手納弾薬庫地区一部返還跡地 (国道東南部地区及び周辺) 都市計画決定図書等作成支援業務)														
資金の 使途の 流れ、 検証、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	ユンタンザフィールドミュージアム構築事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (4) - ア	
担当部課名	教育委員会 文化振興課	事業実施(予定)年度	平成24～平成28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり - 3 - (2)	
事業内容	村民の文化的生活の向上や人材育成、地域活性化、観光振興に役立てるため、読谷村の自然・歴史・文化資源等を調査・整理し、さらに集めた情報を共有・発信・活用できるように再整理する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額	4,881	6,003	6,504		
		(b)予算現額	4,321	5,449	6,504		
		(c)増減額(b-a)	▲ 560	▲ 554	0		
		(d)繰越額	-	-	-		
	A. 計(b+d)		4,321	5,449	6,504		
	B. 執行済額		4,188	5,449	5,979		
	うち交付金充当額		3,350	4,359	4,783		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		96.9%	100.0%	91.9%		
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め業務を遂行した。不用額は入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	3地区の自然・歴史・文化資源等の調査	目 標	(3地区)	(3地区)	(3地区)	()	
		実 績	3地区	3地区	3地区		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	H26年度は渡慶次地区、儀間地区、高志保地区の3地区において自然・歴史・文化資源等の調査を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	文化財ガイドマップ設置完了	目 標	(0箇所)	(3箇所)	(3箇所)	(3箇所)	()
		実 績		3箇所	3箇所	3箇所	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	H26年度は渡慶次地区、儀間地区、高志保地区の3箇所に文化財ガイドマップを設置した。 公共の場に文化財ガイドマップ(渡慶次地区、儀間地区、高志保地区)を設置したことによって、地元の方はもちろん、観光客に文化財情報を提供しやすい環境となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	公共の場に設置した文化財ガイドマップは地元の方々にはよく目に触れることができるが、さらなる歴史文化遺産を活かした人材育成や地域活性化を持続的に推進するためには、本事業の文化財ガイドマップの製作で完了ではなく、製作したマップを活用した事業(例:地域散策会、地域散策ガイド養成講座)の展開が必要で、多くの方々が読谷村全域をフィールドミュージアムとしての情報を共有・認識できる仕組みづくりが必要である。	文化財ガイドマップの製作だけで完了するのではなく、製作物の活用の企画が必要である。
今後の取り組み方針		
製作した文化財ガイドマップを地域の子ども会、青年会、婦人会、老人会等が地域の歴史文化を知る資料として活用し、地域散策会が持続的に開催できるように人材育成を図り、地域や行政そして観光業者と連携した地域活性化や観光振興につながる企画に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
5,979	5,979	4,783	1,196	0

読谷村
5,979千円

委託料
4,838千円

(株)アートリンク

文化財ガイドマップ製作設置委託業務

印刷製本費
616千円

(有) Skill

文化財ガイドマップ配布用
リーフレットの印刷製本

報償費
525千円

各調査時の話者への
謝礼(延べ150名)

各地区有識者からの聞き取り調査謝礼

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名競争入札を行い最低価格提示事業者へ決定し発注したので妥当と考えている。予算規模は委託業務において入札残が生じたが委託仕様のとおり業務を遂行でき適性規模である。費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	読谷村移民・出稼ぎ調査編集事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (4) - ア	
担当部課名	教育委員会 文化振興課		事業実施 (予定)年度	平成24～29年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる 環境づくり	
	- 3 - (2)						
事業内容	国内外へ読谷村をアピールし、県外・海外からの観光客の誘客や国際交流を図るため、移民・出稼ぎについて調査・整理を行う。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	540	6,325	8,443		
		(b)予算現額	540	6,325	8,910		
		(c)増減額(b-a)	0	0	467		
		(d)繰越額	-	0	0		
		A. 計(b+d)	540	6,325	8,910		
	B. 執行済額		540	6,096	8,858		
	うち交付金充当額		432	4,876	7,086		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	96.4%	99.4%		
予算の状況の説明		新たな被調査者が確認されたことから、調査の報償費を増額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	H25年度調査報告書作成。被調査者の調査、記録テープ反訳時の整理	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実 績	実施	実施	実施		
	八重山現地調査(第1回目)	目 標	()		(実施)	()	
		実 績			実施		
達成 状況 説明	・平成25年度の調査報告書を作成した。 ・被調査者に聞き取り調査を行い、それを記録した録音テープの反訳等の整理を行った。 ・八重山における現地調査を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (29年度)
	H25年度調査報告書完成	目 標	()	(報告書の 作成)	(報告書の 作成)	(報告書の 作成)	(報告 書の作成)
		実 績		報告書の作成	報告書の作成	報告書の作成	
	記録テープ化数(100本)の反訳原稿の整理	目 標	()	()	(100本)	(100本)	(100本)
		実 績			100本	100本	
	進捗 状況 説明	・平成25年度の調査で得られた情報をまとめた報告書を完成させた。 ・聞き取り調査で収録した記録テープの反訳を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	被調査者(インフォーマント)の高齢化や体調不良などによって面会できず、調査が困難なことがある。また、調査の中で新たな被調査者も確認されていることから、順次丁寧に調査していく必要がある。	戦後に移民した一世でも60歳以上になるなど、高齢化している。また、二世以降になると日本語が自由に使えないなど調査も困難になるため、特に海外の調査を精力的に行う。 県内での調査においては、被調査者の体調をみながら調査を実施していくとともに、調査を迅速に行う必要があることから、調査員の増員などを行って対応したい。
今後の取り組み方針		
村内外の調査及びテープ反訳、テープ反訳後の整理を着実に実施していく。 関西地区読谷郷友会に加入する読谷村出身者の調査も引き続き行う。 八重山、旧南洋群島、ハワイ及び南米各国(ブラジル、ボリビア、アルゼンチン)への移民調査も実施する。 調査員の増員などを行って、調査の迅速化を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,858</td><td>8,858</td><td>7,086</td><td>1,772</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,858	8,858	7,086	1,772	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
8,858	8,858	7,086	1,772	0										
読谷村 8,858千円 報償費 4,855千円 調査員11人 4,855千円 インフォーマント調査 委託料 3,780千円 自分史センター 3,780千円 テープ反訳にかかる委託業務 旅費 214千円 八重山調査 関西調査 役務費 8千円														
資金の流 点、検 査、評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名競争入札により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当だったと考える。 報償費及び旅費については、事業目的達成の観点から必要なものであるとともに、支出等については条例、調査成果及び村史編集要綱に基づき適正であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業			沖縄 2 1 世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第 3 章 - 1 - (4) - ア	
担当部課名	教育委員会文化振興課	事業実施 (予定)年度	H25 ～ H29		沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる 環境づくり - 3 - (2)	
事業内容	沖縄語で伝承されてきた民話を調査・整理し、沖縄語に親しめる教材(絵本やDVD等)を製作する。また、これらを村内幼小中学校や図書館へ配布し、学校や家庭での活用を推進する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の 状況	(a)当初予算額	7,576	6,052			
		(b)予算現額	4,267	6,052			
		(c)増減額(b-a)	▲ 3,309	0			
		(d)繰越額	-	-			
	A. 計(b+d)		4,267	6,052			
	B. 執行済額		4,267	5,001			
	うち交付金充当額		3,413	4,000			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	82.6%			
予算の状況の説明		民話紙芝居DVD製作委託業務が当初予算より安価となり減額となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	27年度	
	民話調査・整理	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	民話調査・整理を行い、沖縄語(しまくとぅば)を保存継承するための教材(民話絵本・民話紙芝居DVD)第2巻を製作した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)
	絵本「読谷の民話(5話)」の発刊	目 標	()	(実施)	()		()
		実 績		実施			
	DVD「読谷の民話(5話)」の発刊	目 標	()	(実施)	()		()
		実 績		実施			
	進 捗 状況 説明	絵本「読谷の民話(5話)」、DVD「読谷の民話(5話)」ともに1,000部発刊した。 制作した民話絵本・民話紙芝居DVDを村内小学校等へ配付し、朝の読書時間などに放映し、いつでも沖縄語に気軽に親しむことが可能となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成26年度に予定していた事業は滞りなく完了することができたが、民話の巻数が少ない。沖縄語保存継承事業が単調にならないためにも教材をもっと増やしていく必要がある。	本村には伝承されてきた民話がまだまだたくさんあり、今後もこの民話を元に多様な教材を製作することで、より沖縄語(しまくとぅば)の保存継承につながる。
今後の取り組み方針		
各地区ごとの民話を活用した沖縄語(しまくとぅば)教材を製作し、子どもたちが沖縄語の魅力に親しめる教材を増やし、提供していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,001</td><td>5,001</td><td>4,000</td><td>1,001</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,001	5,001	4,000	1,001	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,001	5,001	4,000	1,001	0										
読谷村 5,001千円 委託料 1,732千円 (株)サン・エージェンシー 民話紙芝居DVDや民話CDの製作委託業務 印刷製本費 929千円 (株)東洋企画印刷 民話絵本の印刷製本 報償費 1,080千円 調査員 民話の調査(2名) 役務費 1,260千円 執筆者 民話絵本や民話紙芝居の原稿や原画執筆料														
資金の流 れ、 点 検 評 価 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札を行い最低価格提示事業者へ決定し発注したので妥当と考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-	沖縄戦後教育史・復帰関連資料整理活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (4) - ア		
担当部課名	教育委員会 文化振興課	事業実施(予定)年度	平成26～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり			
事業内容	本村が所有する歴史的価値の高い戦後の教育や復帰運動に関する資料を整理し、デジタル保存するとともに、デジタルアーカイブとしてインターネットで公開を行い、沖縄の戦後史に関する学習や調査研究の機会充実を図る。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	11,797					
		(b)予算現額	11,330					
		(c)増減額(b-a)	▲ 467					
		(d)繰越額						
		A. 計(b+d)	11,330					
	B. 執行済額		11,329					
	うち交付金充当額		9,063					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		99.9%					
予算の状況の説明		当初予算額より、467千円減額となっているが、委託費の入札残による。計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
				26年度	27年度	28年度	29年度	
	資料のデジタル化	目 標	(実施)	()	()	()	()	
		実 績	実施					
	目録の作成	目 標	(実施)	()	()	()	()	
		実 績	実施					
	達成状況説明	資料6082冊の表紙をデジタル化するとともに、目録を作成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	資料のデジタル化:500箱	目 標	()	資料のデジタル化 500箱	()	()	()	
		実 績		資料のデジタル化664箱(表紙のみ)				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	資料500箱のデジタル化を予定していたが、664箱に収納した6082冊の資料の表紙をデジタル化できた。H26年度は当初計画通り、資料の表紙のみをデジタル化して資料群全体の目録を作成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	資料の紙質の差異、保存状態などの優劣、年代的な新旧(1950～80年代)、重複資料などもあることから、取り扱いに注意しつつ優先順位を考慮してデジタル化作業を進める必要がある。	資料内容の確認を順次行いながら、資料の取り扱いには十分注意して、スキャニング及び整理作業を進める。また、状態の悪い貴重資料については、修復を行った上でスキャニングして保存する。
今後の取り組み方針		
H26年度に表紙をデジタル化した資料の中で特に資料的価値の高い資料の内容をデジタル化していく。 また、デジタル化した資料については、デジタルアーカイブとしてホームページ上で公開を行い、沖縄の戦後史及び教育史などに関する調査研究や学習の資料として活用できるようにする。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,329</td><td>11,329</td><td>9,063</td><td>2,266</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,329	11,329	9,063	2,266	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,329	11,329	9,063	2,266	0										
読谷村 11,329千円 → 委託料 11,329千円 → (株)Nansei 11,329千円 資料のデジタル化 委託業務														
資金の流 れ、費 用、	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった											
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	ユンタンザミュージアム建設事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (4) - ア	
担当部課名	教育委員会 文化振興課	事業実施(予定)年度	H26～H29		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の源流を確認できる環境づくり - 3 - (2)	
事業内容	観光振興・地域振興を図るため、世界遺産座喜味城跡と連携した魅力ある博物館を建設し、世界遺産ガイドランスとして博物館機能の強化拡充を行う。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		(a)当初予算額	18,875				
		(b)予算現額	18,875				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	-				
	A. 計(b+d)		18,875				
	B. 執行済額		18,767				
	うち交付金充当額		15,013				
	次年度繰越額		-				
	執行率(%) (B/A)		99.4%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め業務を遂行した。不用額は入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	27年度	
	基本設計の実施	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	H26は新読谷村立歴史民俗資料館(ユンタンザミュージアム)の基本設計を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	基本設計の完了	目 標	()	(完了)	()	()	()
		実 績		完了			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	H26は新読谷村立歴史民俗資料館(ユンタンザミュージアム)の基本設計が完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新施設完成後には世界遺産座喜味城跡と連携した読谷村の歴史文化情報等の発信施設として多くの来場者に満足してもらえる事業を展開する。	H26の基本設計を基に、さらなる調査等を行い具体的な施設整備のための実施設計に反映させていく。
今後の取り組み方針		
今後は事業内容の達成のためにH26に作成した基本設計を基にして実施設計、工事を実施していく。		

今後の取り組み方針

今後は事業内容の達成のためにH26に作成した基本設計を基にして実施設計、工事を実施していく。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		市町村 負担金	交付対象 外経費
18,767	18,767	15,013	3,754	0	



資金の 流れ、 費目、 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託業者は指名競争入札を行い、最低価格提示事業者へ決定し発注したので妥当と考えている。 ○ 予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。 ○ 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののか等については額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-	中学生海外ホームステイ派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成25～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	本村の教育目標である「創造性・国際性に富み社会に貢献できる人材の育成と生涯学習の振興」の実現のため、中学生12人を英語圏に短期派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際性豊かな人材育成を目指す。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,400	3,600			
		(b) 予算現額	2,400	3,600			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 前年度繰越額	-	-			
		A . 計 (b+d)	2,400	3,600			
	B . 執行済額		2,400	3,300			
	うち交付金充当額		1,920	2,640			
	次年度繰越額		-	-			
	執行率（％）(B/A)		100.0%	91.7%			
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	短期留学費の補助	目 標	(12人)	(12人)	()	()	
		実 績	12人	11人			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・村内中学生を海外（英語圏）へ派遣し、現地の雄大な自然等を満喫しながら英語圏の文化を学び、国際交流を体験することにより、国際語である英語の習得が図れた。 ・学校長からの推薦がなかったため1人減						
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値（ 25年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（ 年度）
	海外短期派遣生徒数	目 標	()	(12人)	()	()	()
		実 績		11人			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・学校長からの推薦がなかったため1人減 ・村内中学生を海外（英語圏）へ派遣し、現地の雄大な自然等を満喫しながら英語圏の文化を学び、国際交流を体験することにより、国際語である英語の習得が図られた。 ・帰国報告会（村長への報告会・在籍中学校生徒への報告会・在籍中学校保護者向けの報告会）					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	現在、事前英会話研修を行っているが、現地での実践を想定した研修を行う必要がある。	学校で、英会話の向上を図るため、ALTや英語科の教諭を活用した研修の検討を行う。
今後の取り組み方針		
継続的なホームステイ事業を実施することにより、英語を学ぶことへの関心や意欲を高め、視野を広げ国際性豊かな人材育成を図る。今後、英語に関わる職員等を活用し、英語に触れる時間を増やした事前研修を行った上での派遣を行っていきたい。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
読谷村 3,300千円 補助金 3,300千円 派遣対象生徒 3,300千円 中学生海外ホームステイ派遣事業にかかる経費 派遣者自己負担分 2,783千円 (対象外経費)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額 市町村負担金 交付対象外経費
		6,083	3,300	2,640 660 2,783
資金の流 れ、費 目、 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○派遣される生徒は学校長からの推薦により決定しており、選定方法は妥当である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○補助金交付規則に沿って、予算規模を決定しており、適正な規模である。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は補助金交付規則に沿っており、妥当である。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により確認、適正であった。	

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-	長寿調査検証事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(3)-ア	
担当部課名	生活福祉部 福祉課		事業実施(予定)年度	平成25～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせる環境づくり	
事業内容	地域の高齢者を支えるボランティア(レク担当、調理担当、健康チェック担当)と役場職員総勢30名を長寿日本一の長野県に派遣し、高齢者の生きがいづくり、食生活、健康づくりへの取り組み等、長寿日本一の地域や病院等を視察し、各公民館で行われているミニデイサービス「ゆいま～る事業」の充実と地域の健康基盤づくりの調査検証を行う。						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,235	3,493			
		(b)予算現額	3,235	3,493			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)	3,235	3,493			
	B.執行済額		3,167	3,355			
	うち交付金充当額		2,534	2,684			
	次年度繰越額		-	-			
	執行率(%) (B/A)		97.9%	96.1%			
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	派遣人数(地域ボランティア)	目 標	(27人)	(27人)	()	()	
		実 績	27人	25人			
	派遣人数(役場職員(保健師等))	目 標	(3人)	(3人)	()	()	
		実 績	3人	3人			
達成状況説明	長寿先進地域における高齢者の生きがいづくり、食生活、健康づくりへの取り組み等を調査するため、調査検証員を対象に事前学習、事後検証会を行った。30人派遣予定だったが、参加予定者との調整がつかず28人となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	調査報告会の実施 (「ゆいまーる事業」を実施しているコミュニティ等:21カ所)	目 標	(21回)	(21回)	(21回)	()	()
		実 績		21回	20回		
	報告書の完成	目 標	()	()	(報告書完成)	()	()
		実 績			報告書完成		
	進捗状況説明	報告会は21回を予定していたが、参加者の減に伴い参加地域数も減り、今回参加した調査検証員が各々の地域(19ヵ所)で報告会を行った。それに加え、ゆいまーる共生事業を行っている全地域が参加する「ボランティアのつどい」でも報告会を行い、本検証事業に参加者を派遣できなかった地域も含め伝達を行った。 平成25～26年度の2年間について検証結果、今後の取り組みについて報告書を完成させた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	これまで地域公民館で続けていたミニデイサービスは、特に健康や介護予防に重点を置くことなく、レクリエーションを中心に井戸端会議的な事業を展開していた。 調査検証を通して、食育・運動・医療の3点の重要性を認識し、栄養士や理学療法士等による新たなプログラム作成の必要性を認識したことから、ゆいまーる共生事業の内容見直しを検討する。	食の大切さや運動、医療の重要性を認識し、ボランティアの意識改革に努め、介護予防の観点から更なる向上を目指す。 今回の検証結果を地域の健康づくりに活かすために、ゆいまーる共生事業を対象者のものだけでなくボランティア自身の健康づくりの場としても活用していく。
今後の取り組み方針		
平成26年度は、前年度検証事業に参加した健康チェック担当者を中心に学習会を開催し、健康相談に対するスキルアップを図っている。 この2年間の参加者を中心に次年度以降も学習会を継続し、地域の健康づくりに資するボランティアとして活動できるようスキルをさらに向上させ、お互いの連携も深めていく。 検証事業時に学んだ体操を取り入れた各地域で伝達するだけでなく、検証員が理学療法士と協働で、読谷オリジナル健康体操を作成する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,355</td><td>3,355</td><td>2,684</td><td>671</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 読谷村 3,355千円 県外旅費 2,747千円 長寿調査検証事業3泊4日 (10月18日～21日) 参加者28人 2,747千円 (調査検証員の日当及び航空運賃) バス借料 480千円 沖縄ツーリスト 480千円 (長寿調査検証事業(10月18日～21日)における貸切バス代) 需用費 128千円 (消耗品費、 報告書作成に係る印刷製本費)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,355	3,355	2,684	671	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,355	3,355	2,684	671	0										
資金の 使途の 流れ、 検証 項目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 旅費は入札を行うことで経費縮減の効果がでていて妥当であった。 ○ 不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 調査検証員の選定について、各地区ゆいまーる共生事業会長へ派遣依頼し決定した。これまでゆいまーる共生事業を担ってきた経験者であり、事業目的達成のために適任であると考えている。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 長野県は早くから健康づくりに積極的に取り組み、長寿日本一という形で結実していることから、長寿調査先として妥当であると考えている。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 費目・使途については、事業目的達成のため必要なものを支出額の確定時に書類で確認を行い適正であった。											

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	地産地消推進を図る生産施設設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部課名	建設経済部 農業推進課	事業実施(予定)年度	平成25～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 - 1 - (6)	
事業内容	年間を通した多様な野菜を安定的に生産できる環境の構築により、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や、「食と農」を通した地域観光のイメージアップや農業振興を図ることを目的として、JA等が設置する栽培施設の設置費の一部を補助する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	19,997	19,996			
		(b)予算現額	19,997	10,570			
		(c)増減額(b-a)	0	▲ 9,426			
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		19,997	10,570			
	B. 執行済額		18,720	10,560			
	うち交付金充当額		14,976	8,448			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		93.6%	99.9%			
予算の状況の説明		事業完了後実績報告を受け補助金の額を確定し支出した。執行残は、補助事業実施主体(沖縄県農業協同組合)による入札残及び当初予定していた受益農家が、耕作地を確保することができなかった事に伴う事業予定人数の減によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	栽培施設設置補助	目 標	(実施)	(実施)	()	()	
		実 績	実施	実施			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	当初予定していた受益農家が耕作地を確保することができず、事業予定人数が減ったことにより面積が減となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	栽培施設の設置	目 標	()	(5,600㎡)	(3488.6㎡)	()	()
		実 績		3,438㎡	1836㎡		
	導入農家	目 標	()	()	(7人)	()	()
		実 績			3人		
	進捗状況説明	当初予定していた受益農家が耕作地を確保することができず、事業予定人数が減ったことにより面積が減となった。平成25年度からの事業導入に伴い、読谷村産の野菜出荷量が増えたことで、地産地消に繋がリ「食と農」を通した地産地消の推進を図ることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業当初は、受益農家の耕作地を確保することができず、事業予定人数の減となったが、それ以外は問題なく事業を完了する事ができた。 生産面については、施設を導入した農家の生産力の向上が今後の課題である。	行政及び事業実施主体(沖縄県農業協同組合)で農家の生産技術指導を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
平成29年度までに、農家に委託し栽培施設の導入を行い、多様な野菜の生産振興を図る。 村内農家の生産技術の向上を図るため、栽培講習会等を行う。 対象農家の要件を緩和し、より幅広い受益農家の確保に向けて取り組む。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>14,256</td><td>10,560</td><td>8,448</td><td>2,112</td><td>3,696</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	14,256	10,560	8,448	2,112	3,696
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
14,256	10,560	8,448	2,112	3,696										
読谷村 10,560千円 補助金 10,560千円 沖縄県農業協同組合 10,560千円 生産施設設置にかかる経費 沖縄県農業協同組合負担分 3,696千円 (交付対象外経費)														
資金の流 点、費 目、	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 読谷村における沖縄振興特別推進市町村交付金事業補助金交付規則により、支出先を決定しており妥当であったと考える。 ○ 補助金の割合については規則に沿っており、適正な規模及びに受益者負担は妥当であった。 ○ 費目・用途は、事業完了後実績報告を受け検査し補助金の額を確定したため適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-	航空機騒音常時観測システム購入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-ア	
担当部課名	建設経済部 跡地利用推進課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	米軍基地から派生する諸問題への対応		
					-8		
事業内容	米軍機から発生する航空機騒音を測定する装置を設置する。						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	32,864				
		(b)予算現額	6,913				
		(c)増減額(b-a)	▲ 25,951				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	6,913				
	B.執行済額		6,912				
	うち交付金充当額		5,529				
	次年度繰越額		-				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初、騒音測定器を4基設置する予定であったが、1基に減らしたため、それに伴い予算も減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	航空機騒音常時観測システムの購入	目 標	(購入)	()	()	()	
		実 績	購入				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	航空機騒音常時観測システムを購入し、庁舎屋上に設置し、常時観測を開始した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	航空機騒音常時観測システムの設置 1箇所	目 標	()	(1箇所)	()	()	()
		実 績		1箇所			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	航空機騒音常時観測システムを購入し、庁舎屋上に設置し、常時観測を開始した。さらにそのデータを分析することにより、米軍機による騒音被害の把握に努める。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・風切り音や、地上騒音の影響を受ける。 ・1基のみの設置では、測定範囲に限りがある。	・屋上内で風切り音や、地上騒音の影響を受けにくい場所がないか調査していくことも必要である。 ・今回の測定結果を分析し、増設の必要性を検討する。
今後の取り組み方針		
今回設置したシステムは、沖縄県にデータ蓄積され、報告書にまとめられていく。そして、県や近隣市町村と協力しながら、住み良い環境を考えていく。合わせて、測定器の増設が必要かどうか検討していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,912</td><td>6,912</td><td>5,529</td><td>1,383</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,912	6,912	5,529	1,383	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,912	6,912	5,529	1,383	0										
読谷村 6,912千円 → 備品購入費 6,912千円 → 株式会社 ジムキ文明堂 6,912千円 〔 航空機騒音常時観測システム購入事業 〕														
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 予算額は、見積書等で必要最小限に抑えたので、適正な規模である。 ○ 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	9-	地域にあったものづくり支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9) (イ)		
担当部課名	建設経済部 商工観光課		事業実施(予定)年度	平成26～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成 -1-(7)		
事業内容	読谷村の特産品や商品を県内外へPRするために物産展等へ出展し販路拡大を図るとともに、本村地域資源を活用した新たな特産品づくりを調査するため、読谷村商工会へ補助を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,400					
		(b)予算現額	2,400					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)繰越額	-					
		A.計(b+d)	2,400					
	B.執行済額		2,400					
	うち交付金充当額		1,920					
	次年度繰越額		-					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		事業計画どおり、適正に執行が行われた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	県内外物産展への出店及び調査補助	目 標	(補助)	()	()	()		
		実 績	補助					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	事業計画どおり、商工会へ物産展出展及び調査補助を行うことができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(29年度)	
	出店数(開発支援含)	目 標	()	(5件)	()	()	(15件)	
		実 績		5件				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	物産展へ商品及び試作品を出展するとともに、これらの購買調査を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	26年度に商品の試作や改良を行い、調査したものなかで商品化又は商品力(魅力や販売力)の向上等が見込めるものもあった。それらの商品力の向上等につながるよう、どのように支援していくかが課題。	村や商工会、商品改良等を行った事業所と連携を図ることにより、当該商品の商品力の向上等につながると思われる。
今後の取り組み方針		
今後も読谷村商工会への補助を通して、物産展出展や改良調査等の支援を行っていく。また、26年度調査した試作品や改良品の商品力の向上が図れるよう、商工会と連携しながら支援していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>3,000</td><td>2,400</td><td>1,920</td><td>480</td><td>600</td></tr> </table> 読谷村 2,400千円 補助金 2,400千円 読谷村商工会 2,400千円 ・県内外物産展へ出展 ・新商品の調査 商工会負担分 (交付対象外経費) 600千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,000	2,400	1,920	480	600
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,000	2,400	1,920	480	600										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
		支出先の選定方法は妥当か。	・読谷村商工会は読谷村内の事業所の大半が加入しており、公平性観点から支出先の選定は妥当である。											
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・事業目標を概ね達成しているため、適正な予算規模であったと考える。											
		受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者である読谷村商工会は総事業費の2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。											
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											

市町村名	読谷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-	読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (5) - イ	
担当部課名	建設経済部 商工観光課		事業実施(予定)年度	平成26～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興 -1-(7)	
事業内容	今後のヤチムン(琉球陶器)の持続的発展をめざし、県外マーケットにおいてマーケティングを行うとともに、若手作家の作品を中心にプロモーションを行い、販路拡大や人材育成を図る。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		(a)当初予算額	14,259				
		(b)予算現額	12,463				
		(c)増減額(b-a)	▲ 1,796				
		(d)繰越額	-				
	A. 計(b+d)		12,463				
	B. 執行済額		11,447				
	うち交付金充当額		9,157				
	次年度繰越額		-				
	執行率(%) (B/A)		91.8%				
予算の状況の説明		当初予算額より1,796千円減額となっているが、スキームの変更で委託料から旅費、使用料等に流用し事業の効率化に努めたことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	展示会の開催	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施				
	テストマーケティングの実施	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施				
	達成状況説明	東京ザ・ギフト・ショー出展60工房463品出展来場者約20万人 内ヤチムンブース2千人以上 ヤチムン紹介ツール「旅とヤチムン」1万部 「ヤチムン散歩」3千部 ウェブサイト立ち上げを実施し読谷のヤチムンの認知度アップを図った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	展示会出展作家	目 標	()	(15)	()	()	()
		実 績		60			
	次年度以降のプロモーション戦略等効果検証	目 標	()	(実施)	()	()	()
		実 績		実施			
	進捗状況説明	次年度以降のプロモーション戦略等効果検証においては、展示会において「読谷のヤチムン」の認知度を検証した。来場者の36%が「読谷のヤチムン」を知らず認知度アップに繋がった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	販路拡大を図るため、陶器業界のバイヤーへの「読谷のヤチムン」の知名度向上の必要性に加え、消費者のニーズ掘り起こしが必要である。	展示会出展で陶器業界のバイヤーへの周知は図れたが、加えて今後は、直接消費者などへの知名度アップが必要である。
今後の取り組み		
読谷のヤチムンをアピールするため首都圏での展示会への出展とセールスツールの制作の実施とともに、展示会出展と併せて百貨店など直接消費者へのテストマーケティングを実施し販路拡大と知名度アップを図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		11,447	11,447	9,157	2,290	0

読谷村
11,446千円

県外旅費
2,257千円

職員7人 現場スタッフ 12人

(事前調査・説明会・展示会)

需用費
239千円

(展示会消耗品
やちむん市ポスター作成)

役務費
263千円

(展示会出展作品運送費
展示会ガイドブック広告料等)

委託費
6,260千円

光文堂コミュニケーションズ株
式会社他 5,999千円

(セールスツール作成委託)

読谷村社会福祉協議会
261千円

(展示会作品出展管理委託)

使用料及び賃借料
2,427千円

株式会社ビジネスガイド社
1,887千円

(展示会会場使用料)

株式会社 エムズ
540千円

(やちむん市テント借料)

資金 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託先の選定については、随意契約及びプロポーザルを実施採用し業務の性格と内容に照らし妥当であったと考える。 ○ 予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11-	読谷村都屋漁港水産物展示販売等施設基本設計事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (7) - イ	
担当部課名	建設経済部 商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	流通・販売・加工対策の強化		
事業内容	読谷村、唯一の漁業協同組合である読谷漁協の所在している都屋漁港に水産物展示販売等施設(荷捌き所、直売店等の複合施設)を整備するため、基本設計を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	6,765				
		(b)予算現額	6,765				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	-				
		A. 計(b+d)	6,765				
	B. 執行済額		2,960				
	うち交付金充当額		2,368				
	次年度繰越額		-				
	執行率(%) (B/A)		43.8%				
予算の状況の説明		執行残の3,805千円について、当初は税込みでの補助を考えていたが、読谷漁協へ税抜きでの補助を行った。また、当初予定よりも基本設計の規模の縮小したほか入札残等により当初の計画より補助額が減少した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況			達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	水産物展示販売等施設(荷捌き所、直売店等の複合施設)基本設計の実施	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	読谷漁協に補助し、水産物展示販売等施設(荷捌き所、直売店等の複合施設)基本設計を実施することが出来た。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (26年度)
	水産物展示販売等施設(荷捌き所、直売店等の複合施設)基本設計の完了	目 標	()	(完了)	()	()	()
		実 績		完了			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	読谷漁協に補助し、水産物展示販売等施設(荷捌き所、直売店等の複合施設)基本設計を完了することが出来た。					

